

## 緊急対応プロジェクト体制

政府の広報資料を見ました。どういう体制で、誰が何を担当しているのか、全く不明。平常時ならともかく、依然として省庁縦割りで、活動、報告、指示がされている事に驚きをおぼせない。今、緊急な課題は？一人でも多くの命を救う事。そう、“命を守る政治”です。その為に必要な事は何なのか？私が思いつくだけでも、沢山有る。いくつか列挙する。

### 1. 生存者捜索・遺体捜索

21日に救われた祖母・孫のようなケースの可能性はまだ有る。

### 2. 安否及び、遺体の身元確認

身元が確認されないまま、土葬されようとしている。本当に痛ましい。一人でも多くの方が、身内の状態を、一刻も早く知り、ある人は安心し、ある人は気持ちに整理を付けて、未来へ向けて歩きだせるように、してあげる。その為の、統一データベースの構築。情報支援の為にボランティアの活動。捜索支援の為にボランティア。被災者の負担、自治体の負担を少しでも軽減する。可能な限り、常用の薬情報も人の情報に付帯させる。

### 3. 被災者の状況把握と、徹底支援

家にいる。避難所にいる。孤立している。様々な状況で、苦難の生活をしている。生存している人から更なる犠牲者を出さない。

### 4. コミュニケーション手段の確保

衛星電話、その他の方法で、全ての被災者に定期的なコミュニケーション手段を提供。

### 5. 治安維持

既にいくつもの盗難・窃盗事件が発生している。倒壊・流出した家屋、家具、車、その他における私有財産の保護。放射能汚染による集団避難地域、あるいはその周辺における治安維持。こうした場所は、泥棒の天国と化している。

### 6. 飲料、食料、医薬品、燃料等物資の供給

ロジスティック。いかにして、必要な所に必要な物を最短の時間で届けるか？どうやって、ニーズを把握し、在庫の偏在を防ぎ、一番近い在庫と供給場所を結ぶ。

### 7. 医療支援

医療のニーズを的確に把握し、必要な所に必要な医療支援を行う。全国から、医師・看護師を派遣。偏在を防ぎ。現場近くの、1次受け入れ、遠隔地の2次受け入れ場所を確保し、連携する。医薬品の供給。

### 8. 原発事故対策

原発そのものの事故処理。安定化。被害拡大防止の為に予防措置。放射線量測定、危険除去。避難指示。飲料・食料の検査、排除勧告、被害補償。（国が補償すると明言すべし）

### 9. 広報活動

全ての情報が、中央の統合本部（官邸）に集中し、速やかな判断、意思決定を行う。そして、全ての事象を統合して広報する、統一的な広報室を立ち上げる。この広報活動は、無用な混乱を防ぐ。無駄を防ぐ。あらゆる分野の人が適格に活動する。国際社会にも、きちんと状況を発信する。その意味で、大変重要。その為の、日・英バイリンガル体制を整える。

以上、復興というステージに入る前の段階で、思いつくままに列挙しても、沢山ある。どの課題も、各種の要素が複雑に絡み合っており、省庁縦割りの活動では、対処出来ない。

### 【緊急対応プロジェクト】

法的にどのような手続きが必要かは、わからないが、課題毎に対応する、緊急プロジェクトが必須。

1. 統合対策本部首相を、リーダーとし、官房長官が事務局を務める。内閣（限られたメンバーで良い）に加えて、各課題解決の部会（後述）のリーダー、コンサルリーダー、野党党首、広報室等が加わる。そして、ここから一本化された情報が、24時間発信され続けるようにする。4時間毎に、プレス・メディアに対してブリーフィングを行う。その場で、全ての進捗状況（変化点）を明確にする。以下、部会の例をあげる。

#### 2. 安否・身元情報部会

リーダー：適任官僚（システムに明るい方）

構成メンバー：法務省官僚、総務省官僚、科学技術省官僚、Google、Yahoo、ドコモ、KDDI、ソフトバンク、科捜研、コンサル担当部会担当者（課題整理、まとめ、横連携）、広報室部会担当者（広告代理店等の人材で、広報のプロ、資料作成）、通訳（資料の英語化同時進行）等

#### 3. 物流部会

リーダー：適任官僚（がいるのか？不明）、

構成メンバー：国土交通省官僚、農水省官僚、総務省官僚、ヤマト、佐川等宅急便のプロ、自衛隊ロジスティック、コンサルタント部会担当者、広報室部会担当者、通訳（資料の英語化同時進行）等

担当大臣：国土交通省大臣？（省庁にしばられるのではなく、適任者を内閣から選ぶ）

#### 4. 治安維持部会

リーダー：適任官僚（警視庁）

構成メンバー：警視庁、自衛隊、SECOM、ALSOK等警備プロ、コンサルタント部会担当者、広報室部会担当者、通訳、、、、というような形

各民間企業からの支援に関しては、“労働の対価を払うか、無償だが支援企業名を公表する、どちらか2者択一”と伝え、支援を依頼。とにかく、一刻も早く体制が整い、一人でも多くの命が救われ、早期に復興へ向けて歩み出せる事を切に願っております。

（園田正和）